

2021春のコレクション展 書を愉しむ

2021年3月13日(土)-5月23日(日)
豊橋市美術博物館 2F 第3展示室

書の表現主体である文字には、人の思いや大切な事柄を後世へ伝える役割がありますが、古来、美しく書かれた文字は鑑賞の対象としても愛でられてきました。

明治維新以降の社会変革を背景とする近現代の書は、古典を基本としながらも、独立した造形芸術として多様な展開をみせました。斬新な書之美を追求した前衛書、造形性と象徴性を結晶させた象書(しょうしょ)、現代にふさわしい書を探究した近代詩文書などが創作され、その隆盛は今日まで続いています。

このたびの展示では、東三河ゆかりの作家を中心に近現代の書10点を紹介します。緩急ある線のリズム、にじみやかすれなど濃淡の味わい、黒(文字)と白(余白)が織りなす造形美など、墨による表現の豊かさをお愉しみください。

展示目録

作者名 よみ (生没年)	作品名	制作年 大きさ(cm)	出品展	受入年度等
1 石川 雲鶴 いしかわ うんかく (1922-2006)	心畫	1979(昭和54)年 69.5×135.5	雲鶴書展	昭和54年度 購入
2 伊東 参州 いとう さんしゅう (1910-1994)	亀龍	1986(昭和61)年 201.4×51.5	第18回日展	昭和61年度 作者寄贈
3 大澤 華空 おおさわ かくう (1911-1992)	風	1961(昭和36)年 134.2×99.5	日本カリグラフィー展	平成5年度 大澤久江氏寄贈
4 大澤 華空 おおさわ かくう (1911-1992)	涵	1978(昭和53)年 69.3×67.2	「日本の書」展	平成5年度 大澤久江氏寄贈
5 金子 鷗亭 かねこ おうてい (1906-2001)	山ざくら花	1979(昭和54)年 69.3×113.9	—	昭和54年度 岡崎ゆき子氏寄贈
6 鈴木 翠軒 すずき すいけん (1889-1976)	七言二句 「前有樽酒行」より (李白)	制作年不詳 139.2×34.4	—	平成17年度 小柳津健氏寄贈
7 寺田 樹風 てらだ じゅふう (1934-)	翠虚	1992(平成4)年 70.0×138.0	第20回全三河書道百選展	平成4年度 全三河書道百選展 運営委員会寄贈
8 松下 芝堂 まつした しどう (1926-2009)	江行	1994(平成6)年 234.4×69.3	第26回日展(文部大臣賞)	平成7年度 作者寄贈
9 村田 華穂 むらた かのう (1932-)	千鳥	1992(平成4)年 59.5×175.0	第25回日展	平成5年度 作者寄贈
10 山本 翠蹊 やまもと すいけい (1903-1990)	奥の細道	1970(昭和45)年 34.3×139.8	第1回万紅展(翠軒賞)	昭和55年度 購入